

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL <http://zigexn.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）平尾 文
 問合せ先責任者（役職名）CFO(最高財務責任者)（氏名）寺田 修輔 (TEL) 03(6432)0352
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,937	51.7	1,681	53.5	1,667	52.4	962	51.2	962	51.2	962	51.2
29年3月期第2四半期	3,254		1,095	-	1,094	-	637	-	637	-	637	-
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
	円 銭				円 銭							
30年3月期第2四半期	17.58				17.32							
29年3月期第2四半期	12.22				11.81							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,872	10,169	10,169	60.3
29年3月期	14,116	6,596	6,596	46.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年3月期	-	0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	39.4	3,220	29.7	1,930	31.0	1,930	31.0	1,930	31.0	36.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	55,301,200株	29年3月期	53,451,200株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	45株	29年3月期	45株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	54,760,807株	29年3月期2Q	52,100,490株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
3. その他	14
継続企業の前提に関する重要事象等	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、為替動向の変化等に伴う輸出の拡大や民間設備投資の増加によって緩やかな回復基調で推移しました。このような事業環境のもと、当社グループは、引き続き、既存事業の展開領域及び展開地域の拡張と新規事業の創出並びにビジネスモデルの多様化に努めて参りました。

当社グループの事業は、ライフメディアプラットフォーム事業とその他事業で構成されております。

ライフメディアプラットフォーム事業における注力分野である『人材領域』、『不動産領域』、『生活領域』の状況は以下のとおりです。

a. 人材領域

人材領域は、『アルバイトEX』、『転職EX』、『看護師求人EX』等の求人に関連するEXサイトと株式会社リジョブ(美容、リラクゼーション、介護等の領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジョブ』を運営)、株式会社三光アド(東海地方に特化した求人情報を提供する媒体『求人情報ビズ』を運営)、株式会社ブレイン・ラボ(人材紹介会社向けの業務システム『キャリアプラス2』を運営)から構成されております。

当領域に係る外部環境は、構造的な人手不足感が依然として強く、当社グループにとって追い風でした。政府が主導する「働き方改革」による需要増、及び生産年齢人口減による供給減が寄与し、我が国の求人市場は更なる需給の逼迫が見込まれます。一方で、直近の総求人広告数が前年比横ばいで推移する等、総採用費用の伸び率は鈍化し、企業による広告出稿の「質」の見直しが始まる可能性があるとして当社グループでは考えております。

当社グループでは、景気連動する求人広告市場において、景気と相関する掲載課金モデルと景気に逆行する成功報酬課金の双方を有し、安定的な収益を生み出すプラットフォームを確立しております。

『リジョブ』やEXサイトでは、ユーザー向け機能の強化やマッチングテクノロジーの活用によってCVR(コンバージョンレート)が上昇しました。また、サプライチェーンの垂直統合に伴う顧客ミックスの改善により、コンバージョン当たり単価も上昇しました。2017年1月10日における三光アドの株式取得やリジョブの介護業界への展開も寄与し、コンバージョン当たり単価に影響を及ぼす顧客数も増加傾向にあります。

また、2017年9月27日には株式会社NTTドコモと共同で企画・制作した“仕事探しのプラットフォーム”『dジョブ』のサービス提供を開始致しました。

b. 不動産領域

不動産領域は、『賃貸スモッカ』、『ミノリノ』、『マイスマEX』、『住宅購入EX』等の不動産に関連するEXサイトと『エリアビジネスマーケティングプロジェクト』から構成されております。当領域に係る外部環境は、緩やかな景況感の改善に伴って安定的に推移しています。

主力である『賃貸スモッカ』においては、大手不動産賃貸メディアと新たに提携を開始したことによりデータベースが拡充され、UU数が増加しました。また、マッチングテクノロジーの活用や販売促進策が奏功し、CVRも改善しました。

また、2017年6月21日にローンチしたリノベーション特化中古マンション売買ポータルサイト『ミノリノ』では、不動産企業との連携が拡大し、掲載案件数が順調に増加しております。

c. 生活領域

生活領域は、『中古車EX』、『婚活EX』、『旅行EX』等の生活に関連するEXサイトから構成されております。

当該領域においては、提携メディアとの戦略的な関係性を強化している自動車分野の収益が前年同期に比して急速に成長しており、UU数、CVR、コンバージョン当たり単価といった各KPIが改善しました。また、中古車輸出プラットフォーム『Car-Tana(カタナ)』のローンチを含め、中古車アグリゲーションメディア以外の新規事業機会を検討しております。

その他事業においては、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。主力の株式会社にじげんにおいては、効果的・効率的なコンテンツ拡充オペレーションが奏功し、ストック収益が安定的に増加傾向となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,937,097千円（前年同期比51.7%増）、売上総利益は4,110,550千円（前年同期比39.5%増）、営業利益は1,681,362千円（前年同期比53.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は962,479千円（前年同期比51.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は16,871,733千円（前連結会計年度末比2,755,727千円増）となりました。これは主に、第5回新株予約権の行使等により、その他の金融資産が2,602,326千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債総額は6,702,649千円（前連結会計年度末比817,854千円減）となりました。これは主に、長期借入金が839,958千円減少したこと等によるものであります。

（資本）

当第2四半期連結会計期間末の資本は10,169,085千円（前連結会計年度末比3,573,582千円増）となりました。これは主に、第5回新株予約権の行使により資本金が1,310,444千円、資本剰余金が1,300,716千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末より184,709千円増加し、6,057,700千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,336,269千円となりました。これは主に、売上の伸張による税引前四半期利益の計上1,666,631千円及び法人所得税等支払額591,281千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、2,772,896千円となりました。これは主に、金銭の信託の取得による支出2,593,710千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1,621,336千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出964,958千円、並びに新株予約権の行使による株式の発行による収入2,600,294千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表した「平成29年3月期 決算短信」に記載の数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,872,990	6,057,700
営業債権及びその他の債権	1,410,906	1,280,711
その他の流動資産	171,346	76,844
流動資産合計	7,455,241	7,415,254
非流動資産		
有形固定資産	167,389	173,755
のれん	5,425,607	5,459,621
無形資産	725,901	892,631
その他の金融資産	189,271	2,791,597
繰延税金資産	131,818	118,445
その他の非流動資産	20,779	20,431
非流動資産合計	6,660,765	9,456,479
資産合計	14,116,006	16,871,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2017年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,804,916	1,679,916
営業債務及びその他の債務	595,587	668,004
その他の金融負債	485,986	553,115
未払法人所得税等	711,306	764,064
引当金	117,531	107,118
その他の流動負債	475,606	489,447
流動負債合計	4,190,933	4,261,663
非流動負債		
借入金	3,170,623	2,330,665
引当金	46,356	51,495
繰延税金負債	112,591	58,826
非流動負債合計	3,329,570	2,440,985
負債合計	7,520,503	6,702,649
資本		
資本金	1,213,361	2,523,805
資本剰余金	1,209,224	2,509,940
利益剰余金	4,141,297	5,103,777
自己株式	△48	△48
その他の資本の構成要素	31,668	31,610
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,595,503	10,169,085
資本合計	6,595,503	10,169,085
負債及び資本合計	14,116,006	16,871,733

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	3,254,296	4,937,097
売上原価	△307,279	△826,547
売上総利益	2,947,016	4,110,550
販売費及び一般管理費	△1,861,355	△2,443,228
その他の収益	24,932	14,805
その他の費用	△15,569	△765
営業利益	1,095,025	1,681,362
金融収益	3,067	282
金融費用	△4,249	△15,014
税引前四半期利益	1,093,843	1,666,631
法人所得税費用	△457,109	△704,152
四半期利益	636,734	962,479
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	636,734	962,479
非支配株主持分	-	-
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	12.22	17.58
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	11.81	17.32

第2四半期連結会計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	1,661,769	2,434,797
売上原価	△152,126	△399,278
売上総利益	1,509,643	2,035,518
販売費及び一般管理費	△937,323	△1,208,726
その他の収益	9,456	8,149
その他の費用	△11,090	△271
営業利益	570,686	834,670
金融収益	2,720	177
金融費用	△1,948	△12,376
税引前四半期利益	571,458	822,471
法人所得税費用	△244,619	△359,313
四半期利益	326,839	463,158
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	326,839	463,158
非支配株主持分	-	-
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	6.22	8.37
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	6.05	8.25

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	636,734	962,479
四半期包括利益	636,734	962,479
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	636,734	962,479
非支配株主持分	-	-

第2四半期連結会計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益	326,839	463,158
四半期包括利益	326,839	463,158
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	326,839	463,158
非支配株主持分	-	-

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	
2016年4月1日残高	531,366	531,366	2,645,252	66,282	3,774,266	3,774,266
四半期利益	-	-	636,734	-	636,734	636,734
四半期包括利益合計	-	-	636,734	-	636,734	636,734
新株の発行	669,030	665,859	-	-	1,334,889	1,334,889
株式報酬取引	-	-	-	6,596	6,596	6,596
所有者との取引額合計	669,030	665,859	-	6,596	1,341,485	1,341,485
2016年9月30日残高	1,200,396	1,197,225	3,281,986	72,878	5,752,485	5,752,485

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	
2017年4月1日残高	1,213,361	1,209,224	4,141,297	△48	31,668	6,595,503	6,595,503
四半期利益	-	-	962,479	-	-	962,479	962,479
四半期包括利益合計	-	-	962,479	-	-	962,479	962,479
新株の発行	1,310,444	1,300,716	-	-	-	2,611,160	2,611,160
新株予約権の行使	-	-	-	-	△58	△58	△58
所有者との取引額合計	1,310,444	1,300,716	-	-	△58	2,611,102	2,611,102
2017年9月30日残高	2,523,805	2,509,940	5,103,777	△48	31,610	10,169,085	10,169,085

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,093,843	1,666,631
減価償却費及び償却費	59,700	114,732
金融収益及び金融費用(△は益)	1,182	14,731
株式報酬費用	6,596	-
その他の費用	12,250	-
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	41,436	23,056
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	13,647	△54,035
預り金の増減額	45,034	71,554
その他	142,819	92,573
小計	1,416,507	1,929,243
利息及び配当金の受取額	158	170
利息の支払額	△4,157	△4,735
法人所得税等支払額	△375,257	△591,281
法人所得税等還付額	-	2,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037,250	1,336,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,086	△32,501
無形資産の取得による支出	△72,400	△114,417
投資有価証券の売却による収入	349,986	-
敷金・保証金の差入れによる支出	△133,250	△13,877
敷金・保証金の回収による収入	-	61,609
営業譲受による支出	-	△80,000
金銭の信託の取得による支出	△1,336,720	△2,593,710
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△258,308	-
その他	9,089	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,447,690	△2,772,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	-
長期借入れによる収入	1,768,300	-
長期借入金の返済による支出	△2,196,096	△964,958
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,316,913	2,600,294
新株発行費用の支払額	-	△14,000
新株予約権の発行による収入	4,603	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	393,720	1,621,336
現金及び現金同等物の増減額	△16,719	184,709
現金及び現金同等物の期首残高	3,987,732	5,872,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,971,012	6,057,700

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

報告セグメントの売上収益、利益又は損失

前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期連 結損益計算書 計上額
	ライフメディア プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	3,109,910	144,386	3,254,296	—	3,254,296
セグメント間の 内部売上収益又は振替高	—	55,724	55,724	△ 55,724	—
計	3,109,910	200,109	3,310,019	△ 55,724	3,254,296
セグメント利益(注) 2	1,050,833	59,834	1,110,667	△ 15,642	1,095,025
営業利益					1,095,025
金融収益					3,067
金融費用					△ 4,249
税引前四半期利益					1,093,843

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期連 結損益計算書 計上額
	ライフメディア プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	4,712,965	224,132	4,937,097	—	4,937,097
セグメント間の 内部売上収益又は振替高	—	54,686	54,686	△ 54,686	—
計	4,712,965	278,818	4,991,783	△ 54,686	4,937,097
セグメント利益(注) 2	1,604,276	88,502	1,692,778	△ 11,416	1,681,362
営業利益					1,681,362
金融収益					282
金融費用					△ 15,014
税引前四半期利益					1,666,631

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

前第2四半期連結会計期間(自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期連 結損益計算書 計上額
	ライフメディア プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,585,992	75,777	1,661,769	-	1,661,769
セグメント間の 内部売上収益又は振替高	-	24,035	24,035	△ 24,035	-
計	1,585,992	99,812	1,685,804	△ 24,035	1,661,769
セグメント利益(注) 2	543,536	29,927	573,463	△ 2,777	570,686
営業利益					570,686
金融収益					2,720
金融費用					△ 1,948
税引前四半期利益					571,458

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当第2四半期連結会計期間(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期連 結損益計算書 計上額
	ライフメディア プラットフォーム 事業				
売上収益					
外部顧客への売上収益	2,319,904	114,893	2,434,797	-	2,434,797
セグメント間の 内部売上収益又は振替高	-	28,546	28,546	△ 28,546	-
計	2,319,904	143,439	2,463,342	△ 28,546	2,434,797
セグメント利益(注) 2	793,127	52,837	845,964	△ 11,294	834,670
営業利益					834,670
金融収益					177
金融費用					△ 12,376
税引前四半期利益					822,471

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事業化を検討している新規事業及びコンシューマ課金サービス事業等であります。
2. セグメント利益は、売上収益に売上原価、販売費及び一般管理費、その他の収益、その他の費用を加減算して算定しております。
3. 資産、負債及びその他の項目につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。